

第48回全国高等学校選抜卓球大会中国地区予選会



期日 令和2年12月18日（金）～20日（日）
会場 ジップアリーナ岡山（岡山県総合グラウンド体育館）
文責 岡山県高等学校体育連盟卓球専門部委員長
岡山操山高等学校 加藤 慎一

第48回全国高等学校選抜卓球大会中国地区予選会は、中国5県より予選を勝ち抜いた24チームが岡山市に集まり、ブロック代表5校を目指して熱戦が繰り広げられた。コロナウイルス感染症の猛威が迫る中での開催であったが、関係各所のご支援のおかげで、大会を無事成功裏に終えることができた。感染症対策のため公開抽選会を事前に5県委員長会議で行った。会場は無観客、朝は検温を行い、台やベンチのイス等の消毒作業を徹底すると共に、ボールも常に新しいものに切り替えて行った。副審はゴム手袋を着用し、2階席のイスの消毒時にもゴム手袋を用意した。台やトイレなど至る所で消毒ができるようにアルコール消毒のポンプを置いた。我々だけでなく、監督や選手も自分たちで意識して感染症対策に努めた。

予選は、24チームが8つのリーグに分かれ3チームによるリーグ戦を行った。各リーグ1位が総当たりの決勝リーグへ進み、ブロック代表5校を目指した。

男子は2年前の全国選抜準優勝の野田学園（山口）が推薦出場のため予選会免除の中、2年前の全国選抜大会ベスト4で前回優勝校の出雲北陵（島根①）と、昨年度全国総体でベスト8の関西（岡山①）の2校が頭一つ抜けており、全勝同士で迎えた優勝決定戦では、出雲北陵（島根①）が圧倒的な力を見せつけ、3対0のストレートで関西（岡山①）に勝利し、4回連続の優勝を果たした。3位以下は最終戦までどこが代表になるかが決定しない混戦になった。3位には鳥取敬愛（鳥取①）が入り、三つ巴の末に4位松徳学院（島根②）、5位明誠（島根③）が入った。今回は島根県より3校の出場となり、残念ながら、広島県、山口県は僅差で代表権を獲得できなかった。

女子は、2年前全国選抜ベスト8の山陽学園（山陽女子から改名）（岡山②）、同じく2年前全国選抜ベスト8の就実（岡山①）、昨年度全国総体ベスト4の萩光塩学院（山口①）の3校と、進徳女子（広島①）、明誠（島根①）、鳥取敬愛（鳥取①）の実力校との代表権争いになることが予想された。優勝は激戦を全勝で制した就実（岡山①）となった。2位には明誠（島根①）が入り、3位は進徳女子（広島①）が入った。4位には鳥取敬愛（鳥取①）、5位には山陽学園（岡山②）が健闘を見せた。山口県は代表権を獲得できなかった。

2年前より、インフルエンザの流行や雪の影響等の時期を考慮し、2月開催を12月に移動したが、各県のご尽力により大きな混乱もなく予選会の開催等を実施することができた。今後も、選手ファーストの視点で大会運営を実施するように配慮していきたい。

最後に今大会で代表権を得た各校の全国選抜大会での活躍を祈念するとともに、大会の運営にあたってご尽力を賜りました関係の皆様には感謝申し上げます。本当にありがとうございました。